

議案第1号 一般社団法人看護のココロ設立

設立趣意書

日本は、2007年から高齢化は進んでおり、令和元年版「高齢者社会白書」（内閣府）によれば、平成30年の高齢化率は28.1%、2025年には30.3%になるものと推計され、今後も世界で急速に高齢化が進展することが見込まれています。熊本県の高齢化率については30.6%であり世界保健機構（WHO）及び国連の定義による「超高齢社会」の高齢化率21%を上回っており「超高齢社会」に突入しています。高齢化率上昇の要因として、①65歳以上人口の増加 ②少子化の進行による若年人口の減少の2つが挙げられており、65歳以上の1人暮らしの世帯についても増加中です。

2025年の日本の姿として、高齢者人口の増加、総人口の減少（団塊の世代が後期高齢者に）、認知症高齢者増加（3割増加予定）により高齢者の4人に1人が認知症または予備軍、高齢者独居の増加（4世帯に1世帯が高齢者世帯のみ世帯、7世帯に1世帯が高齢者独居世帯）、年間死亡者数の増加（年間160万人の方が亡くなる）などが推測されています。

このような高齢者を取り巻く環境について、政府はあらゆる政策を打ち出してきましたが、その仕組みや情報が多くなることで制度が複雑になり、地域間格差と貧富の差が拡大しており、更なる健康状態の悪化を招いている状況もみられます。

現在の医療現場については、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしく最期まで住み続けていけるようにという目的から、全国の自治体では地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

熊本県の現状については、病院から在宅へ帰る時の連携が取れてない。地域で支えてくれる人がいない。在宅医療の体制が整ってなく在宅医がいない。医療職や介護支援するスタッフなどの人材不足。認知症の増加により在宅で介護するのが厳しくなっている。ケアプランが予防看護の視点や自立支援も含めた内容になっていない。そもそも自分がどんなふうに最期を迎えたいのかを考える環境が整っていない。地域の高齢化に伴い、コミュニティが機能していない。民生委員の高齢化に伴い、地域のお世話役や担い手が不足している。このように地域包括ケアシステムを支える自助、互助、共助、公助これらの連携が上手く取れていない状況です。

また近年、自然災害が各地で増えていることや新型コロナウイルスなど様々な脅威が発生しており、国民の日常生活においても多くの課題を抱えています。

このような情勢の中、私の看護師としての臨床経験の中で、病院から在宅への退院調整をした際に患者がすぐに再入院するという事例から1人暮らしゆえに再入院を繰り返すのは、負の連鎖から抜けられない社会の仕組みの歪みを感じていました。その患者が1人暮らしでも安心して地域で暮らすことが出来れば、負

の連鎖を断ち切ることができると考え、天草市宮地岳町の「在宅とつながるクリニック天草」の倉本院長と連携をとり地域活動を行ないました。

実際に地域へ入り活動すると、1人1人へ話を聴き、健康状態を確認しながら、個人の家族構成、キーパソン、地域での役割、嗜好、性格、住居状況、かかりつけ医との細かい情報交換などがわかり、これらの情報があれば、ケアマネージャーが作るケアプランや看護師が作る看護計画に活かすことができ、更に必要な資源にも繋げることで、高齢者の1人暮らしの方でも安心して地域で暮らすことができることをこの天草市での地域活動で経験しました。

これらのことから、いかに情報の申し送りが大切であり、その情報を知ること、それを必要な人や資源へ共有することがより良い暮らしへ繋がっていくのか。そのためには、地域へ入り込み1人1人のくらしの聞き取り調査をする役割が必要であること。併せて、その際に看護スキルで幅広い視点で生活を見つめることの大切さも知りました。

そこで高齢者のより良い暮らしを支えるために看護スキルを活かした活動を模索している中、令和2年7月に発生した熊本県南部豪雨災害を機に八代市に地域拠点を定めることが必要だと痛感し、人と人とのつながりを大切にした高齢者の情報コミュニティであり高齢者の寄り添いの場となる「地域の保健室」を設置し、「やっちら保健室」運営協議会として、これまで任意団体で活動を行ってまいりました。

今回、これまでの活動を更に発展させ、持続可能な活動にするため、任意団体から一般社団法人への移行を決意したところです。これまで活動を支え指導・助言・協力を頂いた皆様方に趣旨をご理解頂き、更なる成長のため一般社団法人設立のご協力をご承認をお願いいたします。

尚、一般社団法人看護のココロは、次の5つの事業を中心に取り組んで参ります。

- (1) 健康に関する「相談窓口」事業
- (2) 在宅医療や病気予防について「市民との学び場」事業
- (3) 地域に受け入れられる「安心な居場所」事業
- (4) 世代を超えてつながる「交流の場」事業
- (5) 地域のお世話役の「発掘と育成の場」事業

令和4年7月23日

一般社団法人看護のココロ

設立発起人 熊本県合志市豊岡 2217 番地 145

蓑田由貴